

令和5年度

事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込み書類

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)



公益財団法人郡山コンベンションビューロー

## 令和5年度 公益財団法人郡山コンベンションビューロー事業計画

### 1. 基本方針

約3年にわたりMICE業界に大きな影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症は、政府が令和5年5月8日に季節性インフルエンザなどと同じ5類へ引き下げる方針を決定したことにより大きな転換期を迎え、アフターコロナに向けた動きが活発化していくことが予想される。

MICEの開催動向も一部ハイブリットを継続しながらも、リアル開催への機運が高まり、開催件数並びに経済波及効果の増加が見込まれ、コロナ禍からのV字回復を目指した施策の展開が重要となる。

本財団では、これまで同様、MICEの積極的な誘致・支援活動を展開し、郡山地域全体の元気と活力の創出を図っていく。また、県内22の会員自治体との連携のもと、令和5年に予定されている3件の国際会議の主催者や参加者を中心に観光資源の周知に取り組み、参加者のエクスカッションやリピーターの増加を図るなど県内全域にわたる活性化に寄与する。

### 2. 令和5年度 事業計画

当財団の柱となる誘致活動は、アフターコロナのMICE開催のV字回復に対応すべく、首都圏営業や地方支部営業の積極的な実施や、中核市などのコンベンションビューローが集う「地方都市コンベンション関連団体ワークショップ」への参画、令和4年に開催された国際会議の開催実績PRなども行い、各種会議・学会・大会、企業ミーティングのほか、スポーツ・国際会議についても積極的な誘致を図る。

また、「郡山コンベンションフェア」や大学や病院での「出張版コンベンションフェア」を実施し、地元主催者へのアプローチを図るとともに、施設や観光、支援内容等本市の魅力をPRし、郡山地域での大会等の開催、または開催立候補しやすい環境づくりに努める。

支援体制については、国際会議開催に対応した支援物品の製作・提供などの支援に加え、時流に合わせた感染対策などを提案、安全・安心なMICE開催に向けた支援を行う。

また、主催者の意見・要望等を踏まえ、効率的かつ魅力ある支援について調査研究を行い、主催者に寄り添った支援の維持改善を継続する。

さらに、従来からの開催助成金の維持継続を図るとともに、地域内の消費拡大を図るため、臨時売店出店などを主催者へ積極的に要請し、経済波及効果を高める施策を行う。

(1) 誘致支援活動 ◎は重点施策、下線部は新規事業

①コンベンション誘致事業の推進

◎首都圏への誘致セールスの実施（オール郡山体制での営業活動）

（MICE開催のV字回復に向けた積極的な営業活動の展開）

（令和4～5年開催の国際会議実績PRと国際会議主催者への働きかけ）

◎地方支部等への誘致セールスの強化

（東北支部、福島県支部、郡山支部等への営業活動）

◎「郡山コンベンションフェア2024」の開催

（従来のコンベンションフェアに加え、大学や病院などへ出向き、当財団の紹介を行う出張版コンベンションフェアの実施）

・「国際MICEエキスポ（IME2024）」への出展

・「東北地区MICE誘致商談会」への出展

◎地方都市コンベンション関連団体主催の「合同ワークショップ」への出展

並びに合同セールスへの参加

・フリーWi-Fiなどハード整備に関する関係機関への働きかけ

・スポーツコンベンションの誘致推進

・主催団体キーパーソンの招聘、施設見学、懇談会の開催

・福島県内コンベンション関係団体との懇談会の開催

・郡山地域コンベンション施設連絡会の開催

・開催助成金の積極的な周知

・助成制度の拡充に向けた調査研究

②コンベンション支援事業の推進

◎コンベンション支援内容の周知促進

・国際会議開催に対応した支援物品の製作・提供、支援

・時流に沿った安心・安全対策支援物品の貸出

（マスクや消毒液など感染防止グッズの提供）

（飛沫感染防止アクリル板の貸出）

（サーマルカメラの貸出）

（タブレット型・手かざし型検温機の貸出）

（非接触型体温計の貸出）

・各種助成金の交付

（コンベンション開催助成金）

（スポーツコンベンション開催助成金）

・MICEセミナーの開催

・コンベンションサポーターの育成

（文化財、旧跡、観光施設等の視察研修会の開催）

・アフターコンベンションの充実

（ホープツーリズムの積極的な活用）

（賛助会員市町村の観光資源の周知）

（産業観光コースの周知）

（魅力ある懇親会「ユニークベニュー」の検討）

- ・ 支援ツールの充実
  - (コンベンションバックの提供/有料)
  - (ビニール製袋の提供)
  - (ビジターズガイド等各種パンフレットの提供)
  - (ネームプレート等備品の貸出)
  - (歓迎看板の掲出/郡山駅・磐梯熱海駅・福島空港・会場前)
  - (歓迎プレートの掲示/ホテル・飲食店)
  - (懇親会でのアトラクション、樽酒、盛花、ステージタイトルの提供)
  - (コンベンションサポーターの派遣/シャトルバスへの誘導・インフォメーションデスクの設置)
  - (臨時売店の充実と主催者への出店要請強化)

◎主催者への賛助会員企業の積極的な紹介

- ・ (一社) 郡山市観光協会との連携強化

③ コンベンション関連事業への支援強化

- ・ 外国人向け観光PRツールの調査研究
- ・ 「一本の水路」(猪苗代湖・安積疏水・安積開拓など)の日本遺産魅力発信推進事業への協力
- ・ メディカルツーリズムに関する調査研究
- ・ eスポーツに関する調査研究

(2) 調査研究活動

①開催意向調査、波及効果調査

- ・ コンベンション(MICE)開催意向調査
- ・ 主催者及び参加者に対するアンケート調査及び対応
- ・ 経済波及効果の算出
- ・ 主催者及び営業先データベースの整備
- ・ コンベンション先進地の調査・研究
- ・ 各種フォーラムへの参加
- ・ 自然災害や感染症対策に関する調査研究

②組織強化

- ・ 職員研修(コンベンション関連セミナー・研修会への参加)
- ・ コンベンション関連機関との連携  
(日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー〔JCCB〕、  
東北地区コンベンション推進協議会、福島県内コンベンション関係団体連絡会、  
地方都市コンベンション関連団体)

◎こおりやま広域連携中枢都市圏を含めた広域連携の推進

(近隣市町村及び企業等へ賛助会員入会の依頼)

◎賛助会員の募集強化

(3) 広報宣伝活動

- ・ 「コンベンションガイド/主催者版」「ビジターズガイド/参加者版」の製作
- ・ 「飲食店ガイド」の製作
- ・ 「郡山市中心市街地MAP」の製作
- ・ 広報誌「Convention city こおりやま」の発刊(年4回)
- ・ コンベンション情報の提供及び収集(コンベンションカレンダーの発行〔毎月〕)
- ・ 新ホームページの活用
- ・ デジタルサイネージの有効活用と情報発信  
(賛助会員市町村のイベント観光情報の発信)
- ・ 報道機関との連携強化

令和5年度 公益財団法人郡山コンベンションビューロー 収支予算  
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	2,000	3,000	△ 1,000	
基本財産受取利益	2,000	3,000	△ 1,000	
寄附金収入	2,000	2,000	0	
基本財産収入	1,000	1,000	0	
寄付金収入	1,000	1,000	0	
会費収入	7,610,000	7,780,000	△ 170,000	
賛助会員会費収入	7,610,000	7,780,000	△ 170,000	
事業収入	5,675,000	5,910,000	△ 235,000	
一般事業収益	5,675,000	5,910,000	△ 235,000	各種広報誌広告料等
補助金収入	59,284,000	55,155,000	4,129,000	
地方公共団体補助金	39,254,000	35,125,000	4,129,000	郡山市
会議所補助金	20,030,000	20,030,000	0	郡山商工会議所
雑収益	206,000	206,000	0	
受取利息	1,000	1,000	0	
雑収入	205,000	205,000	0	
経常収益合計	72,779,000	69,056,000	3,723,000	
(2) 経常費用				
事業費	38,624,879	33,674,001	4,950,878	
誘致支援活動事業費(公1)	27,355,879	21,485,001	5,870,878	
報償費	100,000	200,000	△ 100,000	セミナー講師謝礼
旅費交通費	1,749,000	1,777,000	△ 28,000	営業活動に係る旅費
需用費	4,584,000	5,083,000	△ 499,000	各種支援経費等
委託料	0	0	0	
役務費	672,000	783,000	△ 111,000	郵券代等
使用料及び賃借料	1,879,000	1,439,000	440,000	各種商談会出展料等
支払助成金	18,000,000	11,790,000	6,210,000	開催助成金等
什器備品減価償却額	371,879	413,001	△ 41,122	サーマルカメラ・プロジェクター
調査研究事業費(公2)	1,433,000	1,762,000	△ 329,000	
旅費交通費	402,000	633,000	△ 231,000	研修旅費等
需用費	84,000	206,000	△ 122,000	アンケート調査経費等
役務費	391,000	389,000	2,000	アンケート調査郵券代等
負担金支出	556,000	534,000	22,000	研修会費等
広報宣伝事業費(公3)	9,836,000	10,427,000	△ 591,000	
需用費	8,692,000	9,321,000	△ 629,000	印刷製本費等
役務費	1,144,000	1,106,000	38,000	広告掲載料等

管理費	34,590,690	35,859,695	△ 1,269,005	
事務局運営費	27,904,000	29,467,000	△ 1,563,000	
給料手当	22,717,000	23,995,000	△ 1,278,000	
福利厚生費	5,183,000	5,468,000	△ 285,000	
支払負担金	4,000	4,000	0	
会議費	216,000	216,000	0	
役務費	14,000	14,000	0	郵券代等
使用料及び賃借料	202,000	202,000	0	会場使用料等
事務所費	5,118,690	4,888,695	229,995	
需用費	1,270,000	1,200,000	70,000	コピー費等
役務費	299,000	312,000	△ 13,000	電話料金等
使用料及び賃借料	3,485,000	3,312,000	173,000	事務所賃借料等
什器備品減価償却額	64,690	64,695	△ 5	ノートPC×5
一般事務費	1,352,000	1,288,000	64,000	
旅費交通費	2,000	2,000	0	
需用費	248,000	268,000	△ 20,000	コピー用紙等
役務費	653,000	569,000	84,000	振込手数料等
使用料及び賃借料	399,000	399,000	0	自動車リース料等
交際費	50,000	50,000	0	
経常費用合計	73,215,569	69,533,696	3,681,873	
当期経常増減額	△ 436,569	△ 477,696	41,127	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益合計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用合計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 436,569	△ 477,696	41,127	
一般正味財産期首残高	132,507,980	132,985,676	△ 477,696	
一般正味財産期末残高	132,071,411	132,507,980	△ 436,569	
Ⅱ 指定正味財産増減の部	0	0	0	
Ⅲ 正味財産期末残高	132,071,411	132,507,980	△ 436,569	

(注)科目間の流用については、理事長に一任します。

資金調達・設備投資の見込みについて  
(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(1) 資金調達の見込みについて

当期中に資金調達の予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

当期中に重要な設備投資の予定はありません。